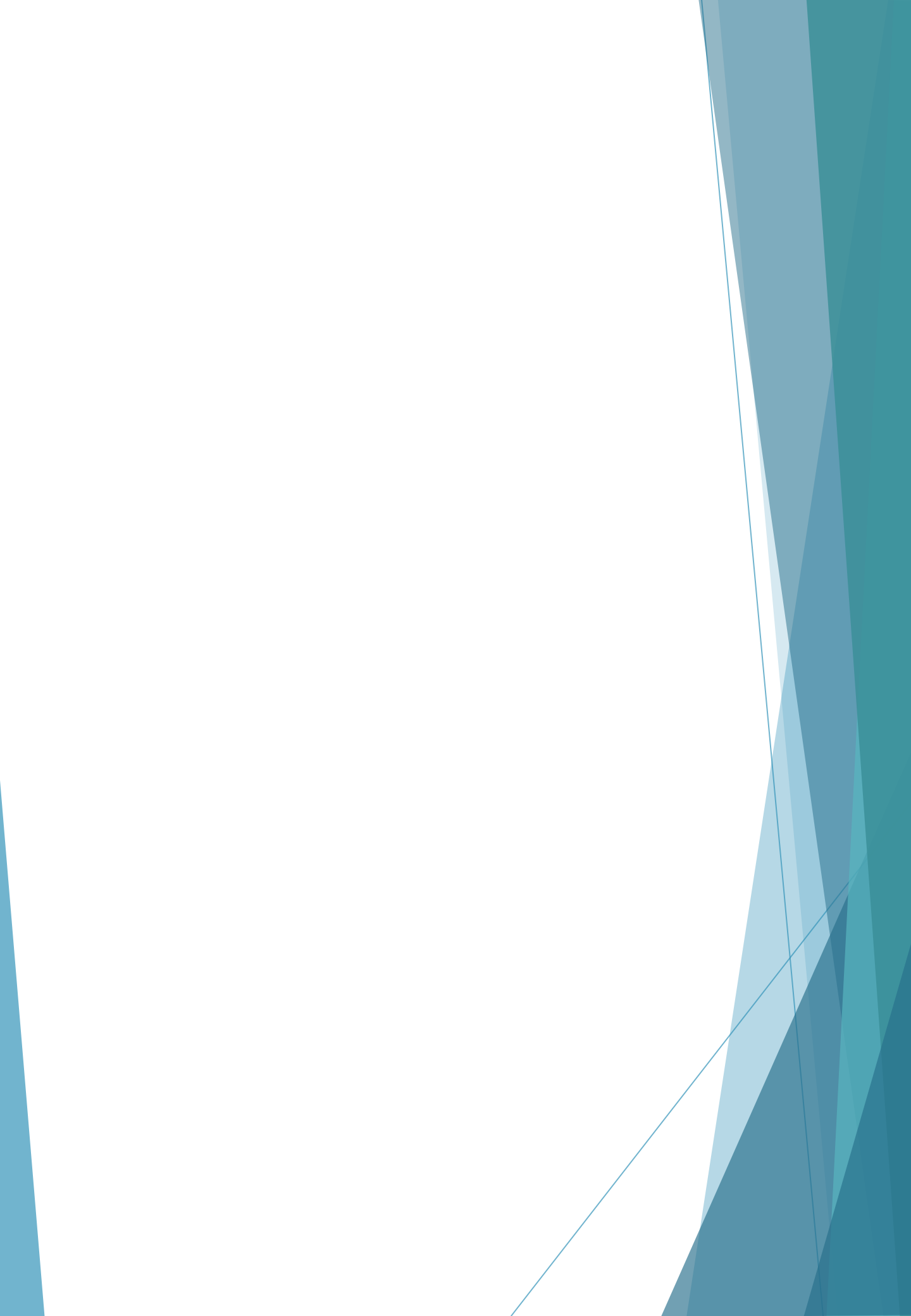


群馬県農協青年部協議会 ポリシーブック2026





群馬県農協青年部協議会 ポリシーブック2026

目次

I. 群馬県農協青年部協議会概要	P 1
II. ポリシーブックの概要と活用	P 2
III. 課題の概要と解決策の提案	P 4 ~ 20
1. 食料安全保障	P 5 ~ 6
2. 農業経営	P 7 ~ 12
3. 地域農業	P 13 ~ 14
4. 農業を取り巻くリスク	P 15 ~ 16
5. その他	P 17 ~ 20
IV. 各選挙地区ごとの要望まとめ	P 21 ~ 28
● 1 区	P 21
■ 2 区	P 22 ~ 23
▲ 3 区	P 24
◆ 4 区	P 25 ~ 26
★ 5 区	P 27 ~ 28

I. 群馬県農協青年部協議会概要

群馬県農協青年部協議会（J A群馬青協）は群馬県内11のJ A青年組織が集まり、農業をよりどころとして豊かな地域社会を築くことを目的に昭和32年（1957年）に設立された組織です。

おおむね20歳から45歳までの日本の農業を担う青年層を中心に、令和8年4月現在で793人の構成員（盟友）が参加しています。また、全国組織（J A全青協）には、約43,000人の構成員（盟友）が参加しています。

主な青年部事業

- ①組織活性化対策の一環として青年部活動を報告する「J A青年組織活動実績発表」、農業・J A・青年部に関して将来に向けて希望・意見等を発表する「J A青年の主張発表」を実施しています。
- ②行政・J A・関係機関等と連携し、子供たちなどへの農業体験学習（食農教育）に取り組むとともに、地場産農畜産物の消費拡大や地域に根ざした健全な食生活を実現するための活動を実施しています。
- ③県内のJ A青年組織相互の親善をはかるとともに、J A青年部活動を強化するためにソフトボール大会等を開催しています。
- ④その他、定期的に各組織の代表者を集め、県青協役員・事務局合同会議の開催、地域ごとの支部交流会、各種要請活動などを実施しています。

Ⅱ. ポリシーブックの概要と活用

1. 概要について

ポリシーブックとは、一言で表すと「青年部の政策集」となりますが、J A 青年組織の盟友一人ひとりが営農や地域活動をしていく上で抱えている課題や疑問点について、盟友同士で解決策を検討してとりまとめて作成しています。

また、そこには「政策提言」として要請することだけでなく、まず自分たちで解決に向けて努力し、取り組むことが「行動目標」として明記されており、「行動目標」と「政策提言」の両方を備えたものがJ A 青年組織の「ポリシーブック」です。

2. 活用について

群馬県内の各J A 青年組織にポリシーブックの作成・活用についてお願いしてきましたが、作成したものの活用していないといったJ A 青年組織もありました。

そこで、J A 群馬青協としてポリシーブックを作成後にどのように活用していくのか申し合わせておき、ポリシーブック作成の意義について盟友への周知・理解促進を促していきます。

《活用方法》

- ・ J A ・ 行政や地元選出国會議員、県議會議員、市町村議會議員などとの意見交換会及び要請活動で活用すること。
- ・ J A における理事会や常勤役員との意見交換会等で活用すること。
- ・ 課題解決のために青年組織が取り組むことを年間活動計画等に反映させること。

群馬県農協青年部協議会 令和8年度役員

人介俊吾教平明勝郎宏地太哉生奈輔樹
直祐雄信敏哲裕謙明大裕拓佳梨啓直
村田田水田子田水田田川澤水庭田高口
田町串清石金森清池山干滝清岡町八関
委員長委員長委員長委員長委員長事与与
委員長事
委副副幹委委委委委委委委委委監監参参

Ⅲ.課題の概要と解決策の提案



どの選挙区からの意見か、明確にするために色分けを行う

- 1区・・・黄（北東部/前橋市、利根沼田）
- 2区・・・紫（東部/佐波伊勢崎）
- ▲ 3区・・・青（南東部/太田市）
- ◆ 4区・・・橙（南西部/たかさき、たのふじ）
- ★ 5区・・・緑（北西部/赤城たちばな、甘楽富岡、北群渋川、あがつま、孺恋村）

◎全体意見・・・黒

1 食料安全保障

<現状と課題>

食料自給率・食農教育

- 食料自給率の低下、原料の海外依存
- ▲ ◆ 安価な輸入農畜産物による国産農畜産物への影響
- ★ 学校給食に地場産農畜産物が供給できていない
- ★ 食の価値や農薬の理解等の消費者へのアピールが不足
- ★ 飼料用米の国産供給量の不足

<行動目標：青年部として取り組むこと>

食料自給率・食農教育

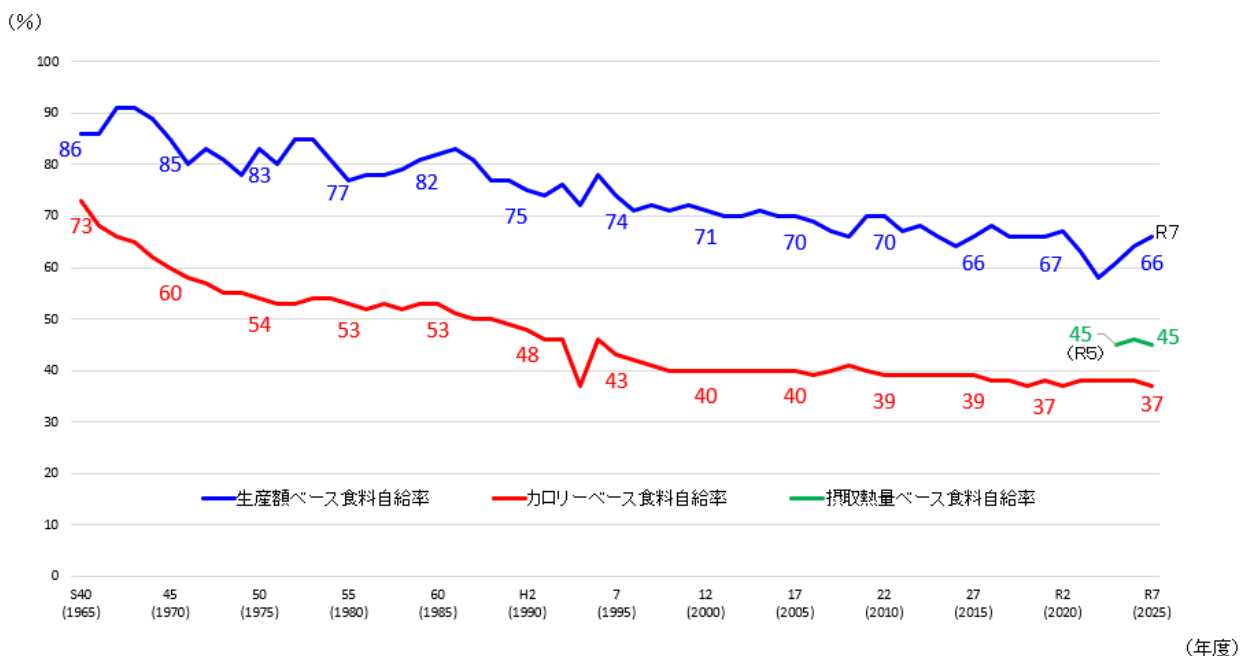
- ▲ 国産・地元農畜産物の新鮮さや安全性をアピールする。
地産地消の推進
- ◆ ★ 学校や地域行事等で食農教育を親子に対して行い、
農家・農業への理解促進を図る
- ★ 飼料用米の作付け拡大

<JA、行政に提案・要望すること>

食料自給率・食農教育

- ◆ ★ 学校給食等への地場産農畜産物の導入(行政)
- ▲ 農業の現状や課題を取り上げる研修会やセミナーの開催(JA/行政)
- ★ 食料の輸入が停止した場合の危険性を周知し、消費者に対して学習する機会の拡充(JA/行政)
- ★ 飼料用米補助の制度設計(行政)

■ 食料自給率の推移



農林水産省 ホーム> 知ってる? 日本の食料事情> 食料自給率・食料自給力について> 日本の食料自給率

https://www.maff.go.jp/j/zyukyu/zikyu_ritu/012.html

2 農業経営

①販売力強化・適正な価格形成

<現状と課題>

◎農畜産物の適正価格の形成

農業資材・肥料等の価格高騰が進むなか、販売価格が低迷し、再生産可能な価格転嫁ができていない。コスト増加分の価格転嫁が困難

(生産コスト高騰かつ生産物価格の低迷)

- 農畜産物価格に対して、消費者と生産者でギャップ
- 農畜産物の生産が過剰になった際に、販売価格の下落幅が大きい

<行動目標：青年部として取り組むこと>

◎品質向上、付加価値のある農畜産物の生産による高値販売。他産地との差別化を図る

■経営規模の大きな農家や市場等と交流の場を設け、学習を進める

▲新規販路の開拓

◆ブランド力向上のためのPR活動の企画、イベントへの参加

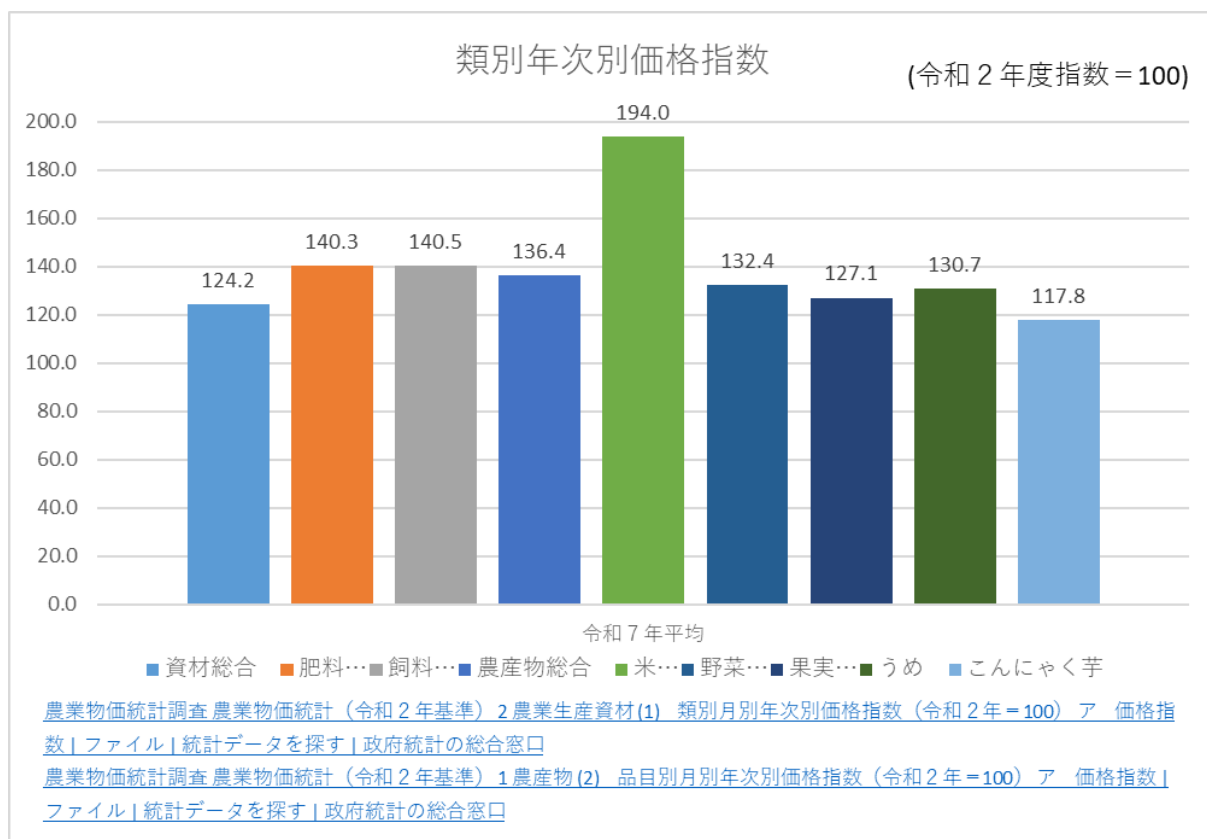
◆直売会等を開催し、消費者に適正価格の理解醸成を図る

①販売力強化・適正な価格形成

2 経営

＜JA、行政に提案・要望すること＞

- ■ SNSやマスメディア等を通じて農業の実態や農畜産物の価格が決定する仕組みを情報発信する(JA/行政)
- ▲ 食料品製造業・小売業などへの価格転嫁や適正販売価格形成に向けた対策強化(JA/行政)
- ◆ 作物ごとの最低保証価格の設定(JA/行政)
- ◆ 農畜産物の価格転嫁への消費者意識の醸成(JA/行政)
- ◆ 他産地と差別化できる新たな品目の提案(JA/行政)
- ◆ 海外進出、地域ブランド化への県や国単位での支援(JA/行政)



2 農業経営

②資材・肥料価格高騰

<現状と課題>

資材・肥料価格高騰

- ◎農業資材・肥料等の価格高騰
(経営圧迫、初期投資等の負担増)

堆肥

- ★堆肥処理の遅延

<行動目標：青年部として取り組むこと>

資材・肥料価格高騰

- ■ ★青年部内での情報共有の強化
- 補助事業の説明会の参加および勉強会の開催
- ◆ ▲経費削減や効率化、共同購入
- ★価格高騰時に備えた生産者ネットワークの整備

堆肥

- ★堆肥の成分表の作成
- ★自分のネットワーク内での処理

②資材・肥料価格高騰

2 経営

<JA、行政に提案・要望すること>

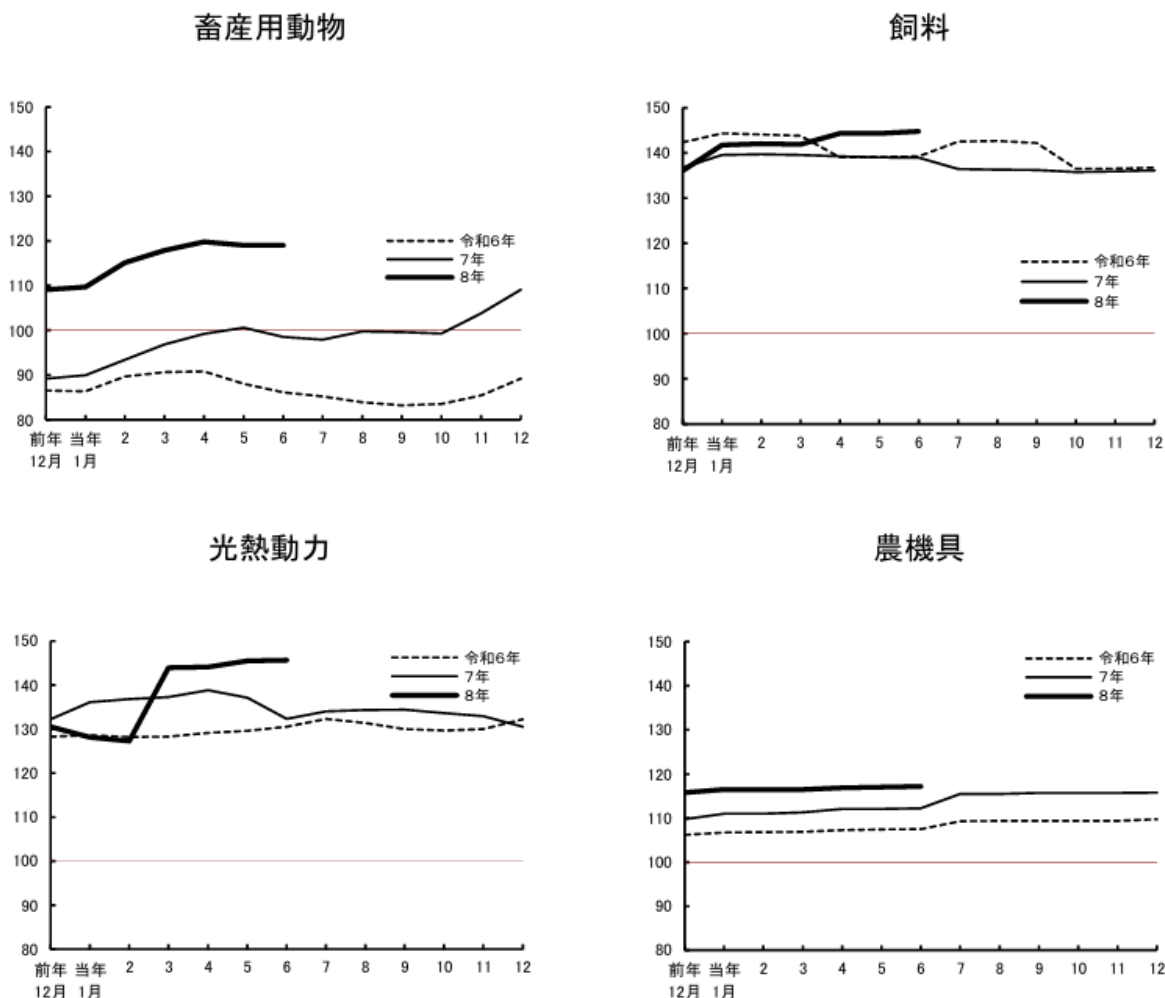
資材・肥料価格高騰

- ◎資材の共同・大量購入による低価格構成の実現(JA)
- ◎各種補助事業・助成制度の拡充および周知(JA/行政)

堆肥

- ★畜産・耕種間のマッチングの促進(行政)

図4 主な農業生産資材の月別価格指数の推移（直近3年間）（令和2年＝100）



農林水産省 ホーム>統計情報>分野別分類/農家の所得や生産コスト、農業産出額など>農業物価統計調査（令和2年基準）

<https://www.maff.go.jp/j/tokei/kouhyou/noubukka/#r>

2 農業経営

③労働力・経営管理

<現状と課題>

労働力

◎労働力不足

- 市町村外から人を雇用する場合、空き家が少ないため住居確保が難しい
- 不法外国人就労者を雇用する事業者の増加

経営管理

- 収入保険の掛金の負担増加
- ◆新規就農のハードルが高い
- ◆農業者の経営分析や労務管理等の知識不足

<行動目標：青年部として取り組むこと>

労働力不足

- ◆若手農業者のネットワーク強化や新規就農支援
- ◆農作物の種類、作付け時期の異なる農業者間で日程調整し、農作業を助け合う
- ◆★ホームページやSNS、求人アプリ等を活用した求人募集
- ◆AI・スマート農業の活用、外国人労働者の雇用

経営管理

- ◆青年部内のネットワーク強化、農機・土地の協力体制の構築
- ◆JAや行政が開催する講習会等に参加する。計画的・安定的な経営に向けて知識・技術の習得

<JA、行政に提案・要望すること>

労働力不足

- 空き家を修繕・利用するための助成金等の支援(行政)
- ハローワーク等による斡旋強化(行政)
- 不法外国人就労者を雇用しないよう、法令遵守の周知徹底を要望(行政)
- ★ 組合員同士の雇用のマッチング体制の整備(JA)
- ◆ スマート農業資材の紹介(JA)
- ◆ スマート農業資材導入にかかる助成制度の整備(JA/行政)
- ◆ 既存の小・中規模農家が大規模化するための資金調達支援や補助事業の実施(JA/行政)

経営管理

- 収入保険の掛金の見直し(行政)
- 農地の貸借体制の整備(行政)
- ◆ 貸出可能な土地や農機、住居の斡旋(JA/行政)
- ◆ 農業経営における各種研修会の案内(JA/行政)
- ◆ 経営分析のプロフェッショナルの紹介・案内(JA/行政)

基幹的農業従事者（個人経営体）

単位：万人、歳

	令和 2年	7年	8年
基幹的農業従事者	136.3	103.6	98.7
うち女性	54.1	37.7	34.2
うち65歳以上	94.9	72.1	69.3
平均年齢	67.8	67.7	67.7

資料：農林業センサス、農業構造動態調査（農林水産省統計部）

注：1「基幹的農業従事者」とは、自営農業を主な仕事としている世帯員をいう。

2令和2年、7年は全数調査で実施した農林業センサスの結果であるのに対し令和8年は標本調査で実施した農業構造動態調査の結果であり、表章されている値は推定値であることから、直接比較して利用する場合には留意する必要がある。

農林水産省 ホーム> 統計情報> 農林水産基本データ集> 農業労働力に関する統計
<https://www.maff.go.jp/j/tokei/sihyo/data/08.html>

3 地域農業

<現状と課題>

耕作放棄地・施設老朽化

◎耕作放棄地の増加、農地整備・再利用が進まない。農地の大区画化が進まず、生産効率が向上しない

●◆農業用水路の老朽化

担い手の高齢化

■◆高齢化・引退による生産基盤の脆弱化、特定品目の生産者の減少

<行動目標：青年部として取り組むこと>

耕作放棄地・施設老朽化

◆地域住民・農業者同士の情報交換を行う、行政との意見交換に向けて盟友間で意見を整理する

▲農地所有者とのコミュニケーションを積極的に行い、農地集積を促す

★耕作放棄地マップ作成、利用価値の判断

担い手の高齢化

■◆高齢化・引退による生産基盤の脆弱化、特定品目の生産者の減少

<JA、行政に提案・要望すること>

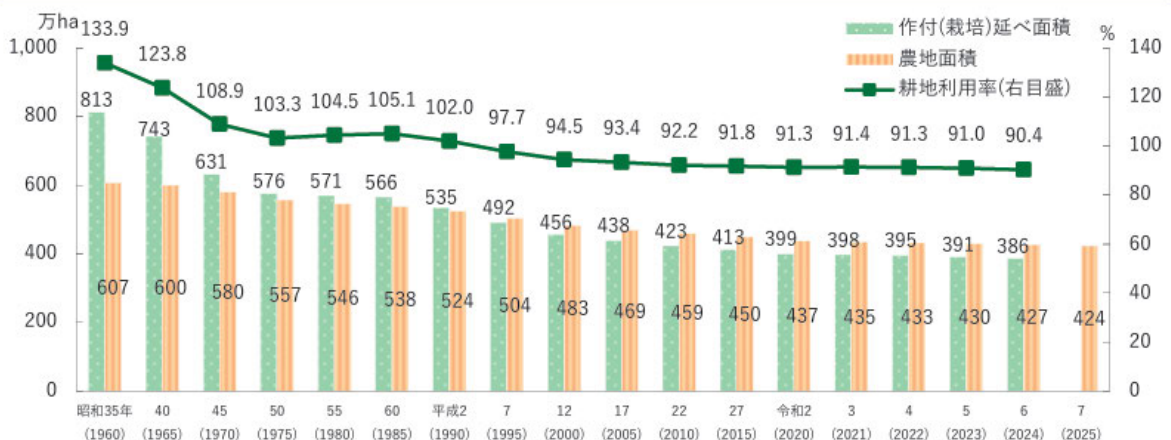
耕作放棄地・施設老朽化

- ◆ 老朽化が進んでいる農業用水路・水門の点検、修繕(行政)
- 農地を守る取り組みの明示(行政)
- ◆ 自動運転・自動操舵機能のある農機を活用するため、農地の大区画化の整備(行政)
- ◆ 耕作放棄地を有効活用するための制度整備(行政)
- ◆ 農地問題の対応窓口の設置、担い手農家へ耕作放棄地等の情報を斡旋(JA)
- ◆ 農地中間管理機構の仕組み・運用等の情報提供(行政)

担い手の高齢化

- ◆ 新規就農者確保のための産地PR(JA/行政)

図表2-3-1 農地面積、作付(栽培)延べ面積、耕地利用率



資料：農林水産省「耕地及び作付面積統計」

注：耕地利用率(%)=作付(栽培)延べ面積÷農地面積×100

4 農業を取り巻くリスク

<現状と課題>

異常気象

- ◎温暖化やゲリラ豪雨、雹等の異常気象・自然災害による農畜産物の品質低下、収量減少

鳥獣害

- ◎鳥獣害・病虫害被害の増加
- 狩猟を行った際に、動物の肉を処分する設備がない

農作業安全

- ▲農作業事故の未然防止
- ▲熱中症対策

<行動目標：青年部として取り組むこと>

異常気象

- ◆収入保険や施設保障への加入
- ◆多品目栽培によるリスク分散
- ◆青年部内での効果的な対策の検討・情報共有

鳥獣害

- ◆青年部内での効果的な対策の検討・情報共有
- ★作付けを工夫し被害減少に取り組む

農作業安全

- 啓発活動により未然防止に取り組む

＜JA、行政に提案・要望すること＞

異常気象

- 収入保険および農業資材にかかる保険の評価額の見直し(JA/行政)
- ▲ 自助だけで賄えない部分の補助、施設整備への補助の実施(行政)
- ◆ 災害の予測・対策にかかる情報発信の充実(JA/行政)
- ◆ 効果的な資材・肥料等の講習会の開催(JA/行政)
- ★ 同じような気候の農業地域の調査(JA)
- ★ 異常気象に対応できる品種の開発・導入(行政)

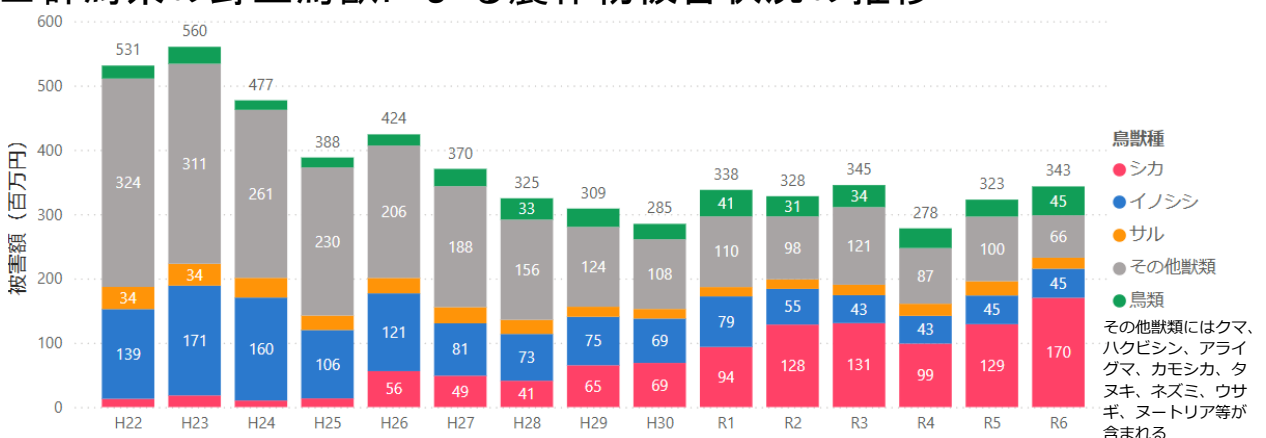
鳥獣害

- と畜場や放射能検査場、販売場所の整備(JA/行政)
- 有効な対策の情報提供(JA/行政)
- ◆ 効果的な資材等の講習会の開催(JA/行政)
- ★ 鳥獣害対策のプロによる研修会の開催(JA/行政)

農作業安全

- 有効な対策の情報提供(JA/行政)
- ▲ ホームページやSNSによる安全確認等の周知(JA/行政)

■ 群馬県の野生鳥獣による農作物被害状況の推移



農林水産省 ホーム＞農村振興局＞鳥獣被害対策コーナー＞農作物被害状況
https://www.maff.go.jp/j/seisan/tyozyu/higai/hogai_zyoukyou/index.html

5 その他

①農業政策

<現状と課題>

補助金・税制関係

- ◎食料品の消費税率が1%となった場合に、一時的に損税が発生し、還付・給付を受けるまでの運転資金が不足する懸念がある
- 補助金・助成金の不明点が多い
- ★補助金が大規模経営農家向けで利用しづらい、小規模農業者への助成が不足
- 税制が複雑化し、不明点が多い
- ◆農業者の確定申告等の知識不足

法令関係

- 農地法により農地があっても希望する場所に家を建てられない(移住支援)
- 相続手続きの簡略化
- ◆農地中間管理事業の手続きの簡略化

<行動目標：青年部として取り組むこと>

補助金・税制関係

- 青年部内での情報共有、勉強会の開催
- ★同じ補助・助成を受ける農業者を探しグループを作る
- ◆JAや行政が開催する講習会等に参加する。計画的・安定的な経営に向けて知識・技術の習得

法令関係

- ◆青年部内での情報共有

<JA、行政に提案・要望すること>

補助金・税制関係

- ◎食料品の消費税率変更に伴う、還付金・給付金が支給されるまでの事業資金の融資制度の整備(JA/行政)
- 補助対象の拡大、手続きの簡略化(行政)
- 補助金・助成金に関する情報提供の充実(JA/行政)
- 県職員や商工会議所職員を講師に招き、助成金・補助金についての説明会の開催(JA)
- 税制についての説明会の開催(JA/行政)
- ★小規模でも価値ある営農を行っている農業者への補助の実施(行政)

法令関係

- 農業委員の指導の強化(行政)
- 相続制度の見直し、手続きの簡略化(行政)
- ◆農地中間管理事業の制度・運用等の情報提供(行政)

5 その他

②組織強化

<現状と課題>

青年部の組織強化

◎盟友の減少・高齢化、青年部活動の参加者の固定化

- ★地域の若手農業者同士のネットワークが小さい
- ★青年部の魅力をPRしきれていない
- ★地域に若手農業者がどれくらいいるか把握できていない

JAの組織強化

- ▲経営指導ができるJA職員が少ない
- ◆JA職員の退職者の増加

<行動目標：青年部として取り組むこと>

青年部の組織強化

- ◎盟友募集ポスターの作成、SNSによる活動の情報発信
- 新規就農者や若手農業者へ青年部加入のメリットを提示する
- 他組織との交流イベントの開催
- ◆ ★青年部についてのPR紙を作成する
- ◆ 地域貢献活動の実施
- ◆ 魅力ある青年部活動を計画する
- ◆ 青年部活動を通し、行政やJAとの交流を行う

JAの組織強化

- ◆ JA職員との交流イベントの開催、JA職員とのコミュニケーションの活発化を図る
- ◆ JA職員の退職を防ぐために盟友にできることを考える

②組織強化

5 その他

＜JA、行政に提案・要望すること＞

青年部の組織強化

- ◆ 行政や市議・県議との意見交換会の開催(行政)
- ★ 就農者情報の開示(JA/行政)
- ◆ 青年部をアピールするイベント活動の企画(JA/行政)
- ◆ 新規就農者へのアプローチと情報共有(JA)
- ★ 青年部のPR紙を市町村の広報誌や他業種紙に折り込むことへの協力(行政)

JAの組織強化

- ◆ JA職員の待遇改善(JA)



JA群馬青協盟友募集ポスター



JA全青協ポリシーブック2026
(ja-youth.jp)



@JAGUNMA.SEINENBU

JA群馬青協公式Instagram
(<https://www.instagram.com/jagunma.seinenbu/>)

■盟友数の推移

	R4	R5	R6	R7	R8	前年比
赤城たちばな	11	11	11	10	10	0
前橋市	63	63	64	62	60	-2
佐波伊勢崎	98	98	97	92	88	-4
たかさき	77	77	77	72	66	-6
はぐくみ	21	21	20	20	0	-20
たのふじ	46	46	43	42	41	-1
甘楽富岡	138	138	138	129	100	-29
北群渋川	14	14	13	13	13	0
あがつま	24	24	23	22	21	-1
婦恋村	113	113	115	105	108	3
利根沼田	266	266	247	242	236	-6
太田市	49	49	50	50	50	0
合 計	920	920	898	859	793	-66

▶基幹的農業従事者数と盟友数の関係



資料：令和8年度 JA全青協まとめ

IV.各選挙区ごとの

行政に対する要望まとめ

● 1 区（前橋市、利根沼田）

①農業経営

販売力強化・適正な価格形成

- ・ SNSやマスメディア等を通じて農業の実態や農畜産物の価格が決定する仕組みを情報発信する

資材・肥料価格高騰

- ・ 各種補助事業・助成制度の拡充および周知

労働力・経営管理

- ・ 空き家を修繕・利用するための助成金等の支援
- ・ ハローワーク等による斡旋強化
- ・ 収入保険の掛金の見直し

②地域農業

耕作放棄地・施設老朽化

- ・ 老朽化が進んでいる農業用水路・水門の点検、修繕

③農業を取り巻くリスク

鳥獣害

- ・ と畜場や放射能検査場、販売場所の整備

④その他

農業政策

- ・ 食料品の消費税率変更に伴う、還付金・給付金が支給されるまでの事業資金の融資制度の整備
- ・ 補助対象の拡大、手続きの簡略化
- ・ 補助金・助成金に関する情報提供の充実
- ・ 農業委員の指導の強化
- ・ 相続制度の見直し、手続きの簡略化

■ 2 区（佐波伊勢崎）

①食料安全保障

食料自給率・食農教育

- ・ 学校給食等への地場産農畜産物の導入

②農業経営

販売力強化・適正な価格形成

- ・ SNSやマスメディア等を通じて農業の実態や農畜産物の価格が決定する仕組みを情報発信する

資材・肥料価格高騰

- ・ 各種補助事業・助成制度の拡充および周知

労働力・経営管理

- ・ 不法外国人就労者を雇用しないよう、法令順守の周知徹底を要望
- ・ 農地の賃借体制の整備

③地域農業

耕作放棄地・施設老朽化

- ・ 農地を守る取り組みの明示

④農業を取り巻くリスク

異常気象

- ・ 収入保険および農業資材にかかる保険の評価額の見直し

鳥獣害・農作業安全

- ・ 有効な対策の情報提供

■ 2 区（佐波伊勢崎）

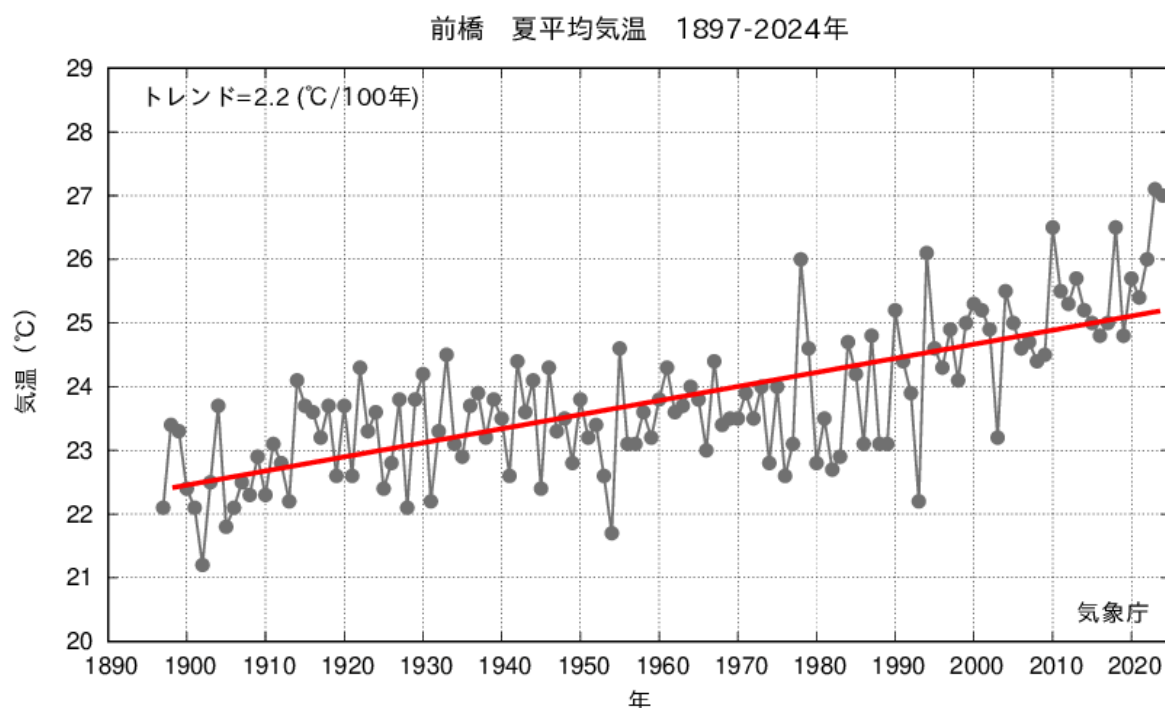
⑤ その他

農業政策

- ・ 食料品の消費税率変更に伴う、還付金・給付金が支給されるまでの事業資金の融資制度の整備
- ・ 税制についての説明会の開催
- ・ 農地中間管理機構の制度・運用等の情報提供

組織強化

- ・ 行政や市議・県議との意見交換会の開催
- ・ 就農者情報の開示



A-PLAT気候変動適応情報プラットフォーム

<https://adaptation-platform.nies.go.jp/map/observation.html>

▲ 3 区（太田市）

①食料安全保障

食料自給率・食農教育

- ・農業の現状や課題を取り上げる研修会やセミナーの開催

②農業経営

販売力強化・適正な価格形成

- ・飲食料品製造業・小売業などへの価格転嫁や適正販売価格形成に向けた対策強化

資材・肥料価格高騰

- ・各種補助事業・助成制度の拡充および周知

③農業を取り巻くリスク

異常気象

- ・自助だけで賄えない部分の補助、施設整備への補助の実施

農作業安全

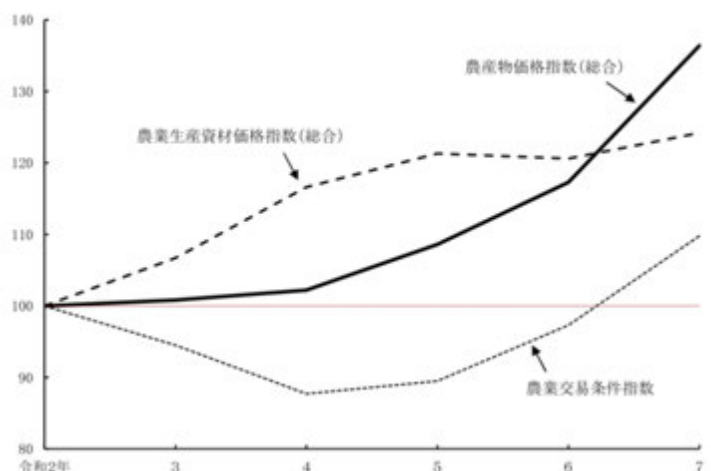
- ・ホームページやSNSによる安全確認等の周知

④その他

農業政策

- ・消費税率変更に伴う、還付金・給付金が支給されるまでの事業資金の融資制度の整備

図1 農業物価指数の推移(令和2年=100)



農林水産省 ホーム> 統計情報> 分野別分類/農家の所得や生産コスト、農業産出額など> 農業物価統計調査（令和2年基準）

<https://www.maff.go.jp/j/tokei/kouhyou/noubukka/#r>

◆ 4 区（たかさき、たのふじ）

①食料安全保障

食料自給率・食農教育

- ・学校給食等への地場産農畜産物の導入

②農業経営

販売力強化・適正な価格形成

- ・作物ごとの最低保障価格の設定
- ・農畜産物の価格転嫁への消費者意識の醸成
- ・他産地と差別化できる新たな品目の提案
- ・海外進出、地域ブランド化への県や国単位での支援

資材・肥料価格高騰

- ・各種補助事業・助成制度の拡充および周知

労働力・経営管理

- ・スマート農業資材導入にかかる助成制度の整備
- ・既存の小・中規模農家が大規模化するための資金調達支援や補助事業の実施
- ・貸出可能な土地や農機、住居の斡旋
- ・農業経営における各種研修会の案内
- ・経営分析のプロフェッショナルの紹介・案内

③地域農業

耕作放棄地・施設老朽化

- ・老朽化が進んでいる農業用水路・水門の点検、修繕
- ・自動運転・自動操舵機能のある農機を活用するため、農地の大区画化の整備
- ・耕作放棄地を有効活用するための制度整備
- ・農地中間管理機構の仕組み・運用等の情報提供

担い手の高齢化

- ・新規就農者確保のための産地PR

◆ 4 区（たかさき、たのふじ）

④農業を取り巻くリスク

異常気象

- ・災害の予測・対策にかかる情報発信の充実
- ・効果的な資材・肥料等の講習会の開催

鳥獣害

- ・効果的な資材等の講習会の開催

⑤その他

農業政策

- ・食料品の消費税率変更に伴う、還付金・給付金が支給されるまでの事業資金の融資制度の整備
- ・農地中間管理機構の制度・運用等の情報提供

組織強化

- ・行政や市議・県議との意見交換会の開催
- ・青年部をアピールするイベント活動の企画

図表2-3-8 基幹的農業水利施設の老朽化状況

	施設数・延長		標準耐用年数 超過割合(%)
		うち標準耐用 年数超過	
基幹的施設(か所)	7,781	4,622	59.4
貯水池	1,295	137	10.6
取水堰	1,978	943	47.7
用排水機場	3,035	2,411	79.4
水門等	1,140	883	77.5
管理設備	333	248	74.5
基幹的水路(km)	52,118	25,814	49.5

資料：農林水産省「農業基盤情報基礎調査」を基に作成

注：令和6(2024)年3月末時点の数値

★ 5 区

(赤城たちばな、甘楽富岡、北群渋川、あがつま、嬭恋村)

①食料安全保障

食料自給率・食農教育

- ・学校給食等への地場産農畜産物の導入
- ・食料の輸入が停止した場合の危険性を周知し、消費者に対して学習する機会の拡充
- ・飼料用米補助の制度設計

②農業経営

資材・肥料価格高騰

- ・各種補助事業・助成制度の拡充および周知
- ・畜産・耕種間のマッチングの促進

③農業を取り巻くリスク

異常気象

- ・異常気象に対応できる品種の開発・導入

鳥獣害

- ・鳥獣害対策のプロによる研修会の開催

④その他

農業政策

- ・食料品の消費税率変更に伴う、還付金・給付金が支給されるまでの事業資金の融資制度の整備
- ・小規模でも価値ある営農を行っている農業者への補助の実施

組織強化

- ・就農者情報の開示
- ・青年部のPR紙を市町村の広報誌や他業種紙に折り込むことへの協力

